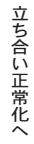


28代庄之助との交友(ト)

小学校に軍配姿写真

2 (1990) 年11月から 撲大会は開催自粛のままだ。 た。新型コロナウイルス感 あることをアピールしてき 司の最高峰を生んだ土地で とで練習に励んできたわん 例のものだった。市街地か の相撲連盟から贈られる恒 優勝を飾ったチームに地元 真が飾られている。市内の 名・後藤悟)が裁く姿の写 列棚には28代木村庄之助(本 染拡大防止のため現在、相 ばく力士たちに、鶴岡は行 校には野外土俵がある。そ ら旧郡部まで市内の各小学 小学校対抗相撲大会で団体 庄之助の在位期間は平成 鶴岡市朝暘六小の玄関陳

の丸3年間で右肩上がりの 若貴(若花田、貴花田)ブ ーム真っ最中だった。 年6場所9日、満員御礼



実であり、立ち合い正常化 産を残したいという気持ち 振るったのが若貴の伯父で があった。それが土俵の充 引き継いだ。新・両国国技 館を完成させた春日野の存 るものにしたいと大ナタを 在もあって、自らも置き土 988) 年から2期4年間 から禅譲のように昭和63(1 の春日野理事長(7期14年) もあった二子山理事長(元 栃若時代の一方の雄、栃錦 横綱初代若乃花)だった。

だった。鶴の 制度。「待っ のが高額罰金 声で始めた

助後援金

ツ子夫人 之助) は鶴岡 た。前列右は 巡業が行われ 之助 (当時伊 鏡山親方のセ 激励会を行っ 援会が共催し る際、地元後 鏡山親方と庄

. 式守伊之助親方 起利錦閱. 魄竜関

が続いた黄金時代を確固た 30万円の時代だから、出 ことになった。 せないことはない金額では が横綱280万円、大関2 10万円、十両5万円。月給 た」した当事者に幕内1回 しないよう、厳しく見守る 長が決めたことだから従う に手を付けた後、「待った」 が呼吸を合わせ、仕切り線 山親方も当惑したが「理事 あったが、世間の常識から だけだ」と土俵上の両力士 は高額そのものに映った。 審判部長だった柏戸の鏡 認められていた。

金で解決情けない

も立ち合いが乱れた要因だ ままだった。立ち合いの裁 った。自分の呼吸だけを優 の行司たちに言い聞かせた。 にしたい」と庄之助は後輩 して『待った』のない土俵 情けないことだ。一層努力 呈したことにもなるからだ。 のは自分たちの力不足を露 きに罰金制度が導入される 「金で解決するというのは 学生相撲出身力士の台頭 行司たちは複雑な感情の

吸などはお構いなしの風潮 も変わっていく。柏戸の現 だった。トーナメント戦の 先させて、対戦相手との呼 でぶつかり合って、それが 者の息が整えば、中腰同士 役時代は立ち合いで仕切り すのも戦法の一つだった。 から立ち合いで相手をじら 線に手をつかなくても、両 一発勝負に懸けてきた経験 時代時代で、相撲の様式

良き思い出宮島旅行

そうした変遷の中、庄之



には庄之助の姿が 朝暘六小の玄関、

> 立ち合いを目指して、共同 助と鏡山は互いに手をつく く話した。 宮島で遊んだ時のことをよ 業の先乗りで広島、安芸の 「同じ部屋に泊まったが

罰金を科されたワーストは 法的な意味合いが強く、次 る。罰金制度はショック療 作業を行っていたことにな 上位力士に適用されたのは 若乃花・貴乃花、武蔵丸。 代の平成10年に廃止された。 第に適用は少なくなり、元 き字引として56年間大相撲 司として大相撲入りし、生 大関豊山の時津風理事長時 罰百戒の面もあった。 双葉山の現役時代に豆行 とにかく、イビキがすごか というかね。横綱になった を出していた。おおらかさ もそれが大物感というもの 後も彼は力士仲間に評判が ても、にこやかな笑顔で思 た」。庄之助は晩年になっ って非常に幸運なことだっ 界で過ごせたことは私にと 良かった。同じ時期に相撲 った。驚くほどだった。で

初の十両優勝(昭和33年春 に尽くした庄之助は柏戸が 場所)を果たした直後、巡

い出を語るのだった。 (富樫嘉美) ||敬称略||

土俵の鬼迫力叱責

の追放がそうだった。平成 3年、全ての関取を集めた のベテラン力士間にはびこ ず、悪い評判があった板井 あり、巡業中も稽古をやら 介役ではないかとの疑惑が を入れた。八百長相撲の仲 っていた腐敗部分にもメス 〇…二子山理事長は幕内

衆も縮み上がるほどの厳し な、板井!」から始まった した日もはねつけ、相撲協 退、年寄襲名の届け出を出 さだった。その後板井が引 土俵の鬼の叱責は他の関取 緊急会議で名指しで批判。 会に残らせなかった。 「分かっているんだろう

毎週火曜日付に掲載